

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第27期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社カーチスホールディングス
【英訳名】	Carchs Holdings Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役兼代表執行役社長 富田 圭潤
【本店の所在の場所】	東京都墨田区両国一丁目7番2号
【電話番号】	03 - 5825 - 5074（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役 高田 知行
【最寄りの連絡場所】	東京都台東区蔵前一丁目5番1号
【電話番号】	03 - 5825 - 5075
【事務連絡者氏名】	執行役 高田 知行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第26期 第1四半期連結 累計期間	第27期 第1四半期連結 累計期間	第26期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	6,866,228	8,399,476	30,245,138
経常利益(千円)	13,957	241,965	965,474
四半期(当期)純利益(千円)	4,913	210,918	881,737
四半期包括利益又は包括利益(千円)	4,251	214,709	879,618
純資産額(千円)	4,769,513	5,858,663	5,643,954
総資産額(千円)	6,692,743	7,680,310	7,707,561
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	0.02	0.89	3.74
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	71.3	76.3	73.2
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	295,623	711,416	504,120
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	4,065	823	1,114,323
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	-	-	-
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	3,820,166	2,620,757	1,910,165

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動についても重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当連結会計年度（平成25年4月1日から平成25年6月30日）におけるわが国の経済は、金融緩和等の各種経済対策の効果もあり国内需要が底堅さを増し、海外経済もユーロ圏やアジア圏の一部では景気が停滞しているものの緩やかに回復の兆しが見られてきております。しかしながら、企業の設備投資への姿勢は慎重であるなど、実体経済の本格的な回復には至らず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界は、新車市場では年明け以降の新車投入などによって、エコカー補助金の終了に伴う反動減からの回復傾向がみられました。中古車市場では良質な中古車の供給が減少し、登録台数は前年同期を下回りましたが、オートオークションにおける取引相場は供給過多であった前年同期に比べて、底堅く推移しました。

このような環境の中で、当社グループは、利益率を重視した事業方針を継続しつつ、中古車買取事業について、組織改革による店舗間のリレーションの強化、社員教育の徹底など、効率的な事業運営の推進に努めた結果、取引台数は増加し、オートオークションにおける取引単価も低迷期を脱したことから、売上高は前年同期を大幅に上回る結果となりました。また、販売管理費においては、人員数の増加による人件費の増加はあったものの、経費の見直し等により、前年同期と同水準で推移した結果、営業利益は前年同期を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、売上高は8,399百万円（前年同期比22.3%増）、売上総利益は1,645百万円（前年同期比16.3%増）、営業利益は236百万円（前年同期は12百万円）、経常利益は241百万円（前年同期は13百万円）となりました。また、四半期純利益は210百万円（前年同期は4百万円）となりました。

（2）財務状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は7,680百万円となり、前連結会計年度末と比べ、27百万円減少いたしました。その主な要因は、商品の減少435百万円、受取手形及び売掛金の減少299百万円、現金及び預金の増加710百万円などによるものであります。

負債合計は、1,821百万円となり、前連結会計年度末と比べ、241百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金の減少77百万円、未払金の減少61百万円、閉鎖店舗引当金の減少61百万円などによるものであります。

純資産は5,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ、214百万円増加いたしました。主な要因といたしましては、四半期純利益を210百万円計上したことにより、この結果、自己資本比率は76.3%（前連結会計年度末は73.2%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ710百万円増加し、残高は2,620百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益は241百万円であり、たな卸資産の減少436百万円、売上債権の減少299百万円などのプラス要因と、仕入債務の減少77百万円、法人税等の支払82百万円、未払金の減少61百万円などのマイナス要因により、結果として711百万円のプラスとなりました(前年同期は295百万円のプラス)。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

敷金及び保証金の回収による収入2百万円のプラス要因と、敷金及び保証金の差入による支出2百万円などのマイナス要因により、結果として0百万円のマイナスとなりました(前年同期は4百万円のマイナス)。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

記載すべき事項はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	492,932,364
計	492,932,364

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	235,987,091	235,987,091	東京証券取引所 市場第二部	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	235,987,091	235,987,091	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	235,987,091	-	14,447,805	-	3,611,951

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 61,500	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 235,922,100	2,359,221	同上
単元未満株式	普通株式 3,491	-	同上
発行済株式総数	235,987,091	-	-
総株主の議決権	-	2,359,221	-

(注)単元未満株式には、当社所有の自己株式54株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社カーチスホールディングス	東京都墨田区両国一丁目7番2号	61,500	-	61,500	0.03
計	-	61,500	-	61,500	0.03

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清和監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,915,167	3,625,760
受取手形及び売掛金	1,135,760	836,214
商品	2,302,629	1,866,684
貯蔵品	2,532	2,193
繰延税金資産	230,066	230,066
その他	149,163	160,929
貸倒引当金	541	541
流動資産合計	6,734,777	6,721,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	901,129	901,087
減価償却累計額	621,032	632,565
建物及び構築物(純額)	280,096	268,521
その他	138,493	138,156
減価償却累計額	96,952	100,549
その他(純額)	41,541	37,606
有形固定資産合計	321,637	306,127
無形固定資産		
その他	32,503	30,077
無形固定資産合計	32,503	30,077
投資その他の資産		
投資有価証券	62,624	67,521
破産更生債権等	6,823,086	6,823,086
差入敷金保証金	544,874	544,329
その他	7,994	7,797
貸倒引当金	6,819,936	6,819,936
投資その他の資産合計	618,643	622,798
固定資産合計	972,784	959,003
資産合計	7,707,561	7,680,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	565,869	488,354
未払金	338,863	276,921
未払法人税等	81,770	32,062
閉鎖店舗引当金	293,426	232,180
製品保証引当金	35,786	34,865
その他	580,177	588,919
流動負債合計	1,895,893	1,653,303
固定負債		
預り保証金	4,550	4,550
繰延税金負債	18,150	18,461
資産除去債務	144,753	145,072
その他	259	259
固定負債合計	167,713	168,343
負債合計	2,063,607	1,821,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,447,805	14,447,805
資本剰余金	7,555,702	7,555,702
利益剰余金	16,353,425	16,142,506
自己株式	3,753	3,753
株主資本合計	5,646,328	5,857,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,212	1,664
その他の包括利益累計額合計	2,212	1,664
少数株主持分	162	248
純資産合計	5,643,954	5,858,663
負債純資産合計	7,707,561	7,680,310

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,866,228	8,399,476
売上原価	5,451,433	6,753,900
売上総利益	1,414,795	1,645,576
販売費及び一般管理費	1,402,283	1,409,020
営業利益	12,511	236,555
営業外収益		
受取利息	2	1,997
受取配当金	341	1,733
受取手数料	1,016	838
受取保証料	437	543
雑収入	740	1,545
営業外収益合計	2,537	6,658
営業外費用		
支払利息	7	4
支払保証料	398	1,010
修理費	684	150
雑損失	0	83
営業外費用合計	1,091	1,248
経常利益	13,957	241,965
特別利益		
固定資産売却益	999	-
特別利益合計	999	-
税金等調整前四半期純利益	14,957	241,965
法人税、住民税及び事業税	12,293	31,841
法人税等調整額	1,588	709
法人税等合計	10,705	31,131
少数株主損益調整前四半期純利益	4,251	210,833
少数株主損失()	661	85
四半期純利益	4,913	210,918

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,251	210,833
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	-	3,876
その他の包括利益合計	-	3,876
四半期包括利益	4,251	214,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,913	214,795
少数株主に係る四半期包括利益	661	85

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,957	241,965
減価償却費	21,416	18,409
閉鎖店舗引当金の増減額(は減少)	72,145	61,246
製品保証引当金の増減額(は減少)	1,588	920
受取利息及び受取配当金	343	3,730
支払利息	7	4
有形固定資産売却損益(は益)	999	-
売上債権の増減額(は増加)	118,697	299,545
たな卸資産の増減額(は増加)	515,859	436,284
仕入債務の増減額(は減少)	123,316	77,514
未払金の増減額(は減少)	73,845	61,074
未払費用の増減額(は減少)	3,133	21,918
前受金の増減額(は減少)	1,099	31,235
未払消費税等の増減額(は減少)	21,652	61,043
その他	16,032	8,377
小計	388,845	791,233
利息及び配当金の受取額	343	1,736
利息の支払額	7	4
法人税等の還付額	-	583
法人税等の支払額	93,558	82,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	295,623	711,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,885	868
有形固定資産の売却による収入	1,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	1,960	2,678
敷金及び保証金の回収による収入	780	2,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,065	823
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	291,557	710,592
現金及び現金同等物の期首残高	3,528,608	1,910,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,820,166	2,620,757

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	3,825,167千円	3,625,760千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	5,001	1,005,002
現金及び現金同等物	3,820,166	2,620,757

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	0円02銭	0円89銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	4,913	210,918
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	4,913	210,918
普通株式の期中平均株式数(千株)	235,925	235,925

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月6日

株式会社カーチスホールディングス
取締役会 御中

清和監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	笥 悦生	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	川田 増三	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	市川 裕之	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カーチスホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カーチスホールディングス及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。